

4 苦情

過去1年間に、現在の派遣先における就業について、苦情を申し出たことがある派遣労働者は17.6%となっている。これを性別にみると、男は13.5%、女は21.5%と女のほうが高くなっている。

苦情を申し出たことがあると回答した労働者について苦情の主な内容をみると、「人間関係・いじめ・パワーハラスメント」が28.0%と最も高く、次いで「業務内容」27.3%、「賃金」17.5%の順となっている。

また、男では「業務内容」が30.4%で最も高く、女では「人間関係・いじめ・パワーハラスメント」が35.6%で最も高くなっている。（表44）

表44 性・派遣の種類、苦情の申し出の有無、苦情の内容別派遣労働者割合

(単位：%)

性・派遣の種類	派遣労働者計	苦情を申し出たことがある	苦情の内容														苦情を申し出たことがない	不明	
			業務内容	指揮命令系統	派遣期間	賃金	就業日・就業時間・休憩時間・時間外労働・休暇	安全・衛生	個人情報の保護	人間関係・いじめ・パワーハラ	セクシャルハラスメント	妊娠・出産を理由とする不利益な取扱い・ハラスメント	育児休業・介護休業等を理由とする不利益な取扱い・ハラスメント	障害者である派遣労働者の有する能力の有効な発揮の支障となっているもの	その他	不明			
総数	100.0	17.6	(100.0)	(27.3)	(6.1)	(1.3)	(17.5)	(10.1)	(2.3)	(0.6)	(28.0)	(0.8)	(-)	(0.0)	(-)	(4.9)	(1.1)	80.9	1.5
前回 [平成24年]	100.0	14.1	(100.0)	(21.6)	(10.9)	(2.4)	(23.0)	(10.1)	(1.1)	(0.7)	(25.4)	(0.8)	(0.2)	(…)	(…)	(3.5)	(0.2)	84.9	1.0
男	100.0	13.5	(100.0)	(30.4)	(5.5)	(1.8)	(21.9)	(12.7)	(3.8)	(0.7)	(15.6)	(0.4)	(-)	(-)	(-)	(5.8)	(1.4)	84.3	2.2
女	100.0	21.5	(100.0)	(25.5)	(6.4)	(0.9)	(14.8)	(8.6)	(1.4)	(0.5)	(35.6)	(1.0)	(-)	(0.0)	(-)	(4.3)	(1.0)	77.6	0.9
派遣の種類																			
登録型	100.0	18.9	(100.0)	(22.7)	(6.8)	(1.6)	(16.5)	(9.2)	(3.3)	(0.9)	(31.9)	(0.7)	(-)	(0.0)	(-)	(5.6)	(1.0)	79.7	1.4
常用雇型	100.0	16.1	(100.0)	(33.7)	(5.1)	(0.9)	(18.9)	(11.4)	(1.0)	(0.2)	(22.8)	(0.9)	(-)	(-)	(-)	(3.9)	(1.4)	82.4	1.6

注：1) 苦情の申し出先は問わない。
 2) () は苦情を申し出たことがある者を100とした割合である。
 3) 「人間関係・いじめ・パワーハラスメント」は、前回（平成24年）は「人間関係・いじめ」として調査しており、比較の際は注意を要する。
 4) 「妊娠・出産を理由とする不利益な取扱い・ハラスメント」は、前回（平成24年）は「妊娠・出産による不利益な取扱い」として調査しており、比較の際は注意を要する。
 5) 「育児休業・介護休業等を理由とする不利益な取扱い・ハラスメント」及び「障害者である派遣労働者の有する能力の有効な発揮の支障となっているもの」は平成29年調査から新たに追加した。